



星が丘中学校だより

第7号

令和5年10月26日
発行責任者 小倉克則



令和5年度スローガン 「自主・創造 そしてやり抜く心」

上記QRコードより、「星が丘中学校」ホームページもご覧ください。

1学期から2学期へ

6日(金)は、1学期終業式でした。式では、各学年の生徒代表3人が、1学期を振り返ってくれました。

【1年生】私は入学してから努力したことが4つあります。クラスメートと交流を深めたこと、体力不足を補うため毎日トレーニングしたこと、自分の苦手な所を重点的に勉強したこと、学級委員長として人の役に立てるように取り組んだことです。2学期も、1学期に努力してきたことを継続しつつ、周りの人のためにつくせる人へと成長していきたいです。

【2年生】1学期を振り返ると、学習面では、わからない問題をわからないままにしないで、友達や先生に教わりながら解決するようにしました。その結果、苦手な教科でも、納得のいく点数をとることができました。生活面では、任された仕事に責任をもって取り組みました。体育祭では、皆が笑顔になれるような声をかけ、部活動では、先輩に教わったことを、後輩に伝える努力をしています。これからも、たくさんのことを経験して、自分自身を成長させていきたいです。

【3年生】様々な活動を通して、「努力することの大切さ」を学びました。そのきっかけの1つはソフトテニス部での活動からです。今年度に入り、調子が上がらず、元に戻そうとしても、うまくいきませんでした。このことから、元に戻すのではなく、常に成長しようとするのが大切だと思いました。2つ目は、志望校を変更したことです。更なる高みを目指して勉強することで、少しずつ手応えをつかんでいます。これらの経験から、努力が無駄になることはないと感じました。今後も、学んだことを生かして、残りの生活を悔いなく過ごせるようにしたいです。

私からは、「1学期を振り返ると、普段の授業中の態度も立派だし、服装もちゃんとしてるし、生徒会活動も主体的に行われており、すごいな、えらいなと思えることがほとんどだった。点数をつけると95点。残りの5点は、もう少し朝のあいさつができていいんじゃないかなと感じた分の5点である。2学期は、時と場に応じたあいさつを心掛け、星が丘中学校からあいさつの大切さを発信していけるようにしていこう。」という話をしました。

5日間の秋休みを挟み、12日(木)には、2学期の始業式を行いました。式では、生徒代表3人が、2学期の抱負を述べてくれました。

【1年生】2学期に頑張りたいことの1つ目は、勉強です。積極的に手を挙げて発言しクラスをリードしたり、5分前行動・2分前着席を実行したりして、テストの点数・順位を上げられるようにしたいです。頑張りたいことの2つ目は、学校行事です。冒険活動ではお互い声をかけあって、友達との思い出を増やし、合唱コンクールでは、士気が下がるような発言や行動をしないよう心がけ、クラスみんなで金賞を狙いたいです。

【2年生】2学期に達成したい目標の1つ目は、テストの点数を上げることです。そのために、家庭学習の時間を1日最低でも2時間は確保し、自分に合う勉強法を見つけたいです。2つ目の目標は、自分で考えて判断し行動できる力をつけることです。生徒会の役員にもなったので、先生の指示を待つのではなく、自分から積極的に行動したいです。

【3年生】中学校生活の最後に向けて3つ目標を立てました。1つ目は勉強です。受験生になって、問題を解くときには、なぜ間違ったのかを考えながら解いています。将来の夢を決める選択肢が広がるように勉強したいです。2つ目は将来について考えることです。人生の分岐点にいる今、自分で自分の将来を決めることが大切であると気づきました。様々なことに興味をもって、夢を見つけないかと思っています。3つ目は最高の思い出を作ることです。学習発表会では、仲間とのつながりを大切に、心を合わせて最高の歌声を届けたいです。そして、その姿を後輩に見せたいです。

私からは、「2学期は学力を蓄える時期である。学校の勉強は、皆さんが大人になった時、困らないようにするためのもの。具体的に言うと、仕事に就くためには、一定のレベル以上の学力が必要な場合が多く、学力をつけるということは、将来の仕事の選択肢を増やすことにつながる。そしてそれは、豊かな人生を送ることと結びついていくことになる。10年後、20年後の自分の姿を想像しながら、じっくり学力を蓄えてほしい」という話をしました。

後期生徒会役員

9月26日(火)におこなわれた令和5年度後期生徒会役員選挙の結果をもとに、生徒会長をはじめ12名を新役員として任命しました。

本校の生徒会は、生徒会役員と各専門委員会が連携を図りながら主体的に活動しており、とても頼もしい組織です。先輩方からの伝統をしっかり受け継いで、みんなで協力しながら、さらに良い星が丘中学校、周りの人が憧れる星が丘中学校をつくれるよう、学校全体をリードしてほしいと願っています。



新人県大会, うつのみやジュニア芸術祭及び県学校音楽祭中央祭の結果

9月29日及び10月12~14日の日程で、新人県大会が行われ、出場を果たした生徒たちは、持てる力を存分に発揮し、星が丘中の名前を県全体に発信してくれました。また、20日には、うつのみやジュニア芸術祭、23日には、県学校音楽祭中央祭が開催され、それぞれ演劇部、合唱部が参加し、これまでの練習の成果を堂々と発表してくれました。

【新人県大会】

●バドミントン

男子 団体 第3位

女子 団体 1回戦惜敗

シングルス 増田光佑佳 ベスト8



●バレーボール

男子 1回戦惜敗

●バスケットボール

男子 1回戦惜敗

●ソフトテニス

男子 個人 山崎・北島ペア ベスト8



●水泳

女子 200m 個メ 寺崎美羽弥 第2位

男子 4×100mMR

古後隆聖 内山陽斗 稲川稔章 工藤蒼大 第3位

●陸上《クラブで参加》

1年男子 1500m 第2位 黒柳純斗

【うつのみやジュニア芸術祭兼栃木県学校演劇祭】

●演劇 準うつのみやジュニア芸術祭賞 準栃木県学校演劇祭賞

【栃木県学校音楽祭中央祭】

●合唱 金賞



学習発表会

25日(水)、県総合文化センターにおいて、「君に届け この想い この旋律」のローガンのもと、学習発表会を開催しました。

午前中の合唱コンクールでは、どの学年もクラス全員で協力しながら全力で取り組み、会場を盛り上げました。中でも3年生の迫力ある歌声は圧巻で、下級生をはじめ、ご来場いただいた保護者の方を感動させてくれました。

午後の部を中心に、文化部や各専門委員会の生徒が、これまでの練習や研究の成果を大いに発揮し、堂々と発表しました。吹奏楽、合唱、演劇などは、普段、練習している姿は目にするものの、舞台上で発表する姿は、なかなか見る機会がないので、生徒たちも、興味深く鑑賞し、クラスメートのいつもとは違う姿に釘付けになっていたようです。学習発表会を通して、改めて、星中生の強固な団結力、いざというときの集中力、主体的に行動する力を強烈に印象付けられました。この経験を今後の生活に活かしてほしいです。

最優秀賞

20日(金)に行われた「宇河地区中学校英語スピーチコンテスト」において、本校の3年生が見事、最優秀賞を獲得しました。

この後、11月16日(木)に行われる県大会に出場します。更なる活躍を楽しみにしています。



11月の主な行事予定

4日(土) 市P連バレーボール大会①	18日(土) 全市一斉土曜授業, PTA球技大会
6日(月) II期授業開始	20日(月) 一斉下校指導
8日(水) 登校指導B, あいさつ運動A	22日(水) 中間テスト, 専門委員会・中央委員会
13日(月) 小中合同あいさつ運動③, 避難訓練	26日(日) 市P連バレーボール大会②
14日(火) 実力テスト④(3年), 地域協議会②	28日(火) 聾学校との交流
17日(金) テスト前部活動中止(~21日) PTA役員会・理事会④	29日(水) 生徒会集会
	30日(木) お弁当の日, オープンスクール(~12月1日)